

平成 29 年 10 月 31 日(火)

東京学連剣友連合会
平成 29 年度 第 2 回 理事会・評議員会 議事録

日時：平成 29 年 10 月 31 日（火）19 時から 20 時 30 分

場所：工学院大学新宿キャンパス 663 号室

出席者：会長・副会長・理事・監事 20 名出席/24 名中

大学評議員 40 名（委任状 20 名） 60 大学出席/83 大学中 72%で会議は成立

定刻 19 時より、高橋会長より挨拶があり、新体制での一任を受けていた新「会長推薦理事」の紹介があった（長尾先輩(筑波大 S55 年卒)、澤井先輩（明治大 H10 年卒）、古澤先輩（日本体育大 H16 年卒））。同時に、今回新しい課題として 1.稽古会の一層の充実、2.国際事業の注力を挙げ、加盟大学の理解と協力をお願いした。

<議題-報告事項>

①稽古会（野田理事）：4 月からの毎月の稽古会場所と参加者の報告を実施した。9 月大正大、10 月一橋大で、稽古会参加者の一層の増加のために、文化事業として稽古前に講演会を実施し、好評を得たこと、参加者が増えたことの報告があった。また、10/14(土)には新しい試みとして、5/6/7 段審査向け稽古会を澤井理事・古澤理事が中心となり、日本体育大学剣道場にて実施した。14 名の先輩が参加した。この試みは引き続き実施していく予定である。

②関東学生剣道連盟日韓親善使節団（伊藤副会長・数馬理事）： 9/23(土)から 4 日間、関東学生剣道連盟の日韓親善使節団に随行し、韓国大学の剣道部 OB への交流促進のきっかけ作りを実施したことを報告した。東京学連 50 周年記念誌 30 冊をお土産に、年末の大会参加、来年 3 月の京都での武者修行参加を呼び掛けた。現状、参加意向を示しているが正式決定はしていない。

③武者修行（野田理事）： H30 年 3 月 3 日-4 日に京都大学、武徳殿での稽古をメインイベントとして計画中であること、1 月初旬には申込み要項が明確になることの報告があった。

④その他：特になし

<審議事項>

1. 学連剣友剣道大会

① 審判長・日本剣道形演武者（高橋会長）：審判長は国士館大学矢野博志先輩、剣道形は調整中

② 大会会場――墨田区総合体育館（事務局）：要項の説明と体育館フロアの説明をした。全国 OB から参加チームの追加の要請があり、2 チームまで可能とした。また年齢制限について多少の融通が利くかという質問があり、各部 1 チームとした手前年齢制限は遵守したいとした。

③役割分担及び審判員（担当理事・事務局）：理事の担当(案)と評議員の当日の出欠確認、手伝い学生役員の依頼を実施した。現状、明治大、法政大、駒澤大の参加を正式に要請する必要がある、それ以外の昨年お願いした大学は手伝いの学生派遣の了承を得た。評議員は全員参加で当日朝 7 時 30

分からの大会準備をお願いし、その後、審判なり、選手としての参加を要請した。

④懇親会——墨田区産業会館（担当理事・事務局）：4 年ぶりに懇親会を実施し、150 人程度の規模を予定しているため、各大学の参加者を促進する旨、お願いした。なお、参加費は 2,000 円で決定した。

⑤表彰関係（担当理事・事務局）：懇親会の参加者を増やすためと大会そのものを盛り上げるために、1 回戦・2 回戦での敗者チームから優秀選手を選抜し、表彰することとなった。詳細は次回の会議に担当理事・事務局から提案する。

⑥外国人チームの参加（数馬理事）：正式決定ではないが、在日本のヨーロッパチーム、米国オセアニアチームが I 部に、女子が 1 チームの予定。また韓国からは 1 部に 1 チーム、女子に 1 チームの可能性もある。締め切りの 11/15(水)までに決定する予定。在日外国人は、会員登録の必要はなく、大会参加費 3,000 円を申し受ける。韓国からの来日チームは、大会参加費もなしで招待扱いとする。別途、補助金の必要性も検討するとした。

⑦その他：次回大会予定日は H30 年 12 月 2 日(日)に決定したことを報告した。

以上

書 記：事務局長 藤野
確認者：理事長 前田